

さくらほっと NEWS

vol.40

平成29年夏号



中央手術部の中心メンバー

左から石黒副部長、日比師長、深田師長(副部長)、祖父江部長

高度急性期病院としての 機能を更に強化

ハイブリッド手術室・4K内視鏡手術室を含む
手術室3室を増設……………2

名市大病院のチカラ vol.8 ……………3

消化器・一般外科部長に瀧口教授が着任 ……4

病棟・中央診療棟6階の食堂がリニューアルオープン

市民公開講座・セミナーのご案内

ご寄附のお願い(さくら基金)



病院長 小椋祐一郎

新病院長あいさつ

このたび、平成29年4月1日から病院長を拝命いたしました小椋祐一郎です。診療科は眼科で、平成9年に本学医学部教授として着任して今年でちょうど20年になります。城卓志前病院長の後任として、全職員が協力し、当院の更なる発展・活性化に向けて一生懸命努力する所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

高度急性期病院としての機能を更に強化 ハイブリッド手術室・4K内視鏡手術室を含む手術室3室を増設

今年4月から手術室が3室増設され、当院の手術室は計16室になりました。今回は増室する3室のうち「ハイブリッド手術室」と「4K内視鏡手術室」についてご紹介します。

ハイブリッド手術室



手術中にX線撮影が可能に

ハイブリッド手術室は、カテーテル室の機能を併せ持った手術室で内科と外科による高度な血管内治療などに対応するため、**手術中のX線撮影が可能な装置**を備えています。

この装置を活用することで、X線で撮影した画像をリアルタイムで確認することができ、これまで以上に安全かつ精度の高い手術を実施することができます。

C字型の機器で挟んだ箇所をX線撮影します。

4K内視鏡手術室

手術映像が4K画像に

4K内視鏡手術室は、患者さんの負担が少ない腹腔鏡下手術などに対応するため、**内視鏡による手術映像が4K(※)の鮮明なモニターで確認**できます。さらには、執刀医がモニターの視認性を上げるため、**照明を青色に変更できる機能**も備えています。

また、**床の鋼板がスライドすることによる免震機能**も備えています。

※「4K」とは：フルハイビジョン(1920×1080画素)の4倍(3840×2160画素)の画素数を備える高画質映像システム



照明を青色にした状態：手術映像をより鮮明に見ることができます。



中央手術部
祖父江部長

「超高齢化社会」に向けて発展しつづける

今回の手術室増設で、**高度な手術を実施する体制が充実し**、当院の**高度急性期病院としての機能は更に強化**されました。

今後さらに進むと言われている「超高齢化社会」においては、手術が必要な患者さんの数も増え続けることが予想されていますが、当院は今後も社会の変革に柔軟に対応し、この地域の中核医療機関として、市民の皆様の医療ニーズに答えていけるよう発展しつづけてまいります。

名市大病院のチカラ

Vol. 8

腎臓内科

全てのIgA腎症(慢性糸球体腎炎)に対し完治を目指す



腎臓内科
福田部長

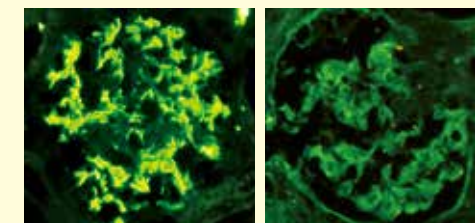
IgA(アイ・ジー・エー)腎症とは、タンパク尿や血尿が長期間持続する慢性糸球体腎炎の大半を占め、透析の原因としては糖尿病に次いで2番目に多い疾患です。IgAというのは、免疫グロブリンA(Immuno-globulin-A)の頭文字をとった名称で、鼻粘膜などに付着する細菌を攻撃し体を守るミサイルのようなものです。IgA腎症では上咽頭炎や扁桃炎などが誘因で誤った免疫反応が起こり、IgAが腎臓にある糸球体という血液濾過装置に沈着し(図1)、糸球体の毛細血管が壊れて次第に腎機能が低下してゆくの。以前は「血尿が続いてもタンパク尿が少なければ治療しない」という考えが一般的であり、現在でも同様の方針をとっている医療機関が少なくありませんが、昨今の研究成果により放置すると腎不全につながる恐れがあることが分かってきました。

当科では、このIgA腎症の診療に力を入れてお

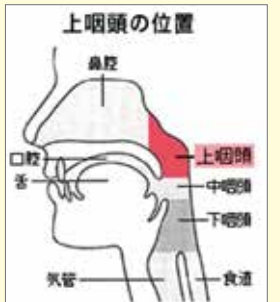
り、腎機能が既に低下してしまった患者さんに対しても、決して諦めずに完治または改善に向けて取り組んでいます。口蓋扁桃の摘出・ステロイド剤の投与・上咽頭炎の治療(図2)を合わせる治療によって、当院では9割以上の方が完治しています。特に上咽頭炎の治療については実施している医療機関が少なく、当科の最大の特徴と言えます。他県から来られる患者さん多いと思います。

患者さんに「病気を患った人生」から「病気ではない人生」を取り戻していただくため、我々は今後も日々の診療に尽力してまいります。

【図1】腎生検所見



IgA腎症の患者さん
健康者
健康の方には見られないIgAの糸球体沈着(明るくなっている箇所)があります。



【図2】
上咽頭炎治療では上咽頭に塩化亜鉛を塗布します。

泌尿器科

最新機器「BioJetシステム」を導入し、高精度な前立腺生検(先進医療)の実施に向けて準備を進める



泌尿器科
安井部長

前立腺がんは、男性がかかるがんの中で最も多い病気です。検診などで血液中の前立腺腫瘍マーカー(PSA)が高値の場合、前立腺生検を行い診断されます。一般的には、直腸に挿入した超音波の画像を見ながら生検を行います。早期の前立腺がんの場合、超音波では発見できないことがほとんどです。そこで、私たちは前立腺がんの診断に有用とされるMRIと超音波画像を同時に観察する新しい方法の前立腺生検を以前より導入してきました(写真1)。MRIは、微小な病変も発見できるため、従来の方法と比較してがん検出率が10%以上高いと報告されています。



【写真1】
MRI画像
(○印:前立腺がんが疑われる)
超音波画像
(○印:生検針)

さらに現在では、より正確にMRI画像と超音波画像を同期させるBioJet(バイोजェット)システム(写真2)を用いた前立腺生検の実施に向けた準備を進めています。この方法は、厚生労働省が認める高度な技術を用いた医療(先進医療)として認定されています。

前立腺がんに対しては、本技術による診断から、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」(写真3)を用いた根治手術まで、あらゆる面において患者さんに満足いく医療が届けられるよう尽力してまいります。



【写真2】
最新機器「BioJet」システム



【写真3】
手術支援
ロボット
「ダ・ヴィンチ」

消化器・一般外科部長に瀧口教授が着任



消化器・一般外科
瀧口部長

はじめまして。消化器・一般外科部長(教授)として着任いたしました瀧口修司です。大阪大学を卒業し、同附属病院消化器外科で准教授を務めておりました。専門は消化器外科・内視鏡手術で、これまで数多くの手術経験をしてまいりました。特に、食道がん・胃がんは得意とするところです。

当院の消化器・一般外科には、既に多くの実力のあるスタッフが勤務しています。我々の技術を期待して、名古屋市のみならず全国からお越しいただけるような高度な手術を提供するべく、スタッフ全員一丸となり精進してまいりたいと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

病棟・中央診療棟6階の食堂がリニューアルオープン

事務課

平成29年4月3日(月)から、病棟・中央診療棟6階の食堂が新しい装い・メニューでリニューアルオープンしました。これまでに以上に健康的かつ豊富なメニューを取り揃え、価格もお手頃に設定していますので、ご来院の際には是非ご利用ください。

営業時間 平日8時00分～19時00分

主なメニュー モーニング380円～
昼セット・夜セット570円～
ボウル・丼600円など

明るく開放的な雰囲気になりました。



肉・魚・野菜などの素材バランスを考慮し、バリエーション豊かなメニューをご用意しています。

メニュー例



★ハンバーグ定食



★鮭の塩麹焼き定食



★シーフードカレー

※メニューは日替わりとなっています。

市民公開講座・セミナーのご案内

高血圧の管理と健康長寿

日 時	平成29年6月25日(日) 13:30～15:30
場 所	大ホール(病棟・中央診療棟3階)
内 容	患者さんだけでなく、広く一般の方を対象とした高血圧に対する理解を深めていただくためのセミナー
定 員	300名(先着順)
担 当	名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学

患者情報ライブラリーセミナー

日 時	平成29年6月29日(木) 14:00～14:30
場 所	患者情報ライブラリー(病棟・中央診療棟地下1階)
内 容	今、増えています一脂肪肝～肝硬変 肝・膵臓内科 部長 野尻俊輔
定 員	30名程度(先着順)
担 当	患者情報ライブラリー

※次回(8月開催)については当院ホームページでお知らせします。

事前申込不要・費用無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

ご寄附のお願い(さくら基金)

経営課

当院では「さくら基金」を設置し、寄附のご支援をお願いしています。

皆様から寄せられた寄附金は、診療研究、人材育成、医療環境の充実などに活用させていただきます。

当基金の趣旨をご理解いただくとともに、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

問い合わせ先

経営課経営係

TEL 052-858-7114(直通)

※インターネットもご利用いただけます。